

一生懸命エホバに仕えて喜びを味わう

「一人一人、自分の行いについてよく考えましょう」。[ガラテア 6:4](#) 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます。

37 番の歌 自分の全てを尽くしてエホバに仕える

何を学ぶか*私たちは皆、仲間の手本から学ぶことができます。とはいえ、気を付けなければいけないことがあります。自分ができることと他の人ができることを比較して思い上がったりがっかりしたりすることを避け、喜びを保つために、どんなことができるでしょうか。この記事ではこうしたことを考えます。

1. どうすれば大きな喜びを味わうことができますか。

エホバは、私たちが喜びを味わうことを願っています。そう言えるのは、喜びが聖なる力が生み出すものの一面だからです。（[ガラ 5:22](#)一方、聖なる力(*)が生み出すもの(d*実)は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、）そして、受けるより与える方が幸福です。ですから、宣教を熱心に行ったり仲間をさまざまな方法で助けたりするなら、私たちは幸福になり、大きな喜びを味わうことができます。（[使徒 20:35](#)私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉を覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました）

2-3. (ア) [ガラテア 6章4節](#)からすると、エホバに仕える上で喜びを保つためにどんな2つのことが役立ちますか。(イ) この記事ではどんなことを考えますか。

2 [ガラテア 6章4節](#)一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べますでパウロは、喜びを保つのに役立つ2つの点を挙げています。（読む。）1つ目は、①エホバのために自分にできることを一生懸命に行うことです。そうするなら、喜びを保つことができます。（[マタ 22:36-38](#)「先生、律法の中で最も重要なおきてはどれですか」。37 イエスは言った。「『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ』。38 これが最も重要な第一のおきてです）2つ目は、②自分と他の人を比較してはいけないということです。健康や才能に恵まれ、良い訓練を受けたおかげで何かを成し遂げることができたとしても、私たちはエホバに感謝するべきです。私たちが持っているものは、全てエホバから与えられているものだからです。では、仲間がエホバに仕える面で自分よりも多くのことができる場合はどうでしょうか。そういう時にも、喜ぶことができます。こうした人が、自分のためではなく、エホバを賛美するために自分の能力を使っているからです。ですから、競争心を抱くのではなく、こうした人から学ぶようにしましょう。

3 この記事では、①エホバに仕える面で自分にはできることが限られている、と感じる時に何が役立つかを考えます。また、②どうすれば自分の能力を十分に生かせるか、③聖書中の人間や仲間の手本からどんなことを学べるかも取り上げます。

できることが限られていると感じる時



人生のどの時点においても、自分にできることを一生懸命に行うなら、エホバは喜んでくださる。（4-6節を参照。）

*写真や挿絵: 1人の兄弟は若い頃、ベテルで奉仕していた。やがて結婚し、夫婦で開拓奉仕を行った。子供ができた後は、上手に伝道できるよう子供たちを教えた。年を取った今も手紙で伝道し、自分にできることを一生懸命に行っている

4. どんなことが原因でがっかりすることがあるかもしれませんか。

4 エホバに仕えている人たちの中には、年を取ったり病気になったりしてできることが限られるようになると、こうした状況に順応するのを難しく感じる人もいます。キャロル姉妹の場合がそうです。姉妹は以前、必要な大きな所で奉仕していました。そこで35人の人に聖書を教え、幾人かをバプテスマまで導きました。姉妹は実りある奉仕を楽しんでいたのです。しかし、やがて病気になり、家からほとんど出られなくなりました。姉妹はこう言います。「病気のせいでほかの人と同じようにはできない、ということは頭では分かっています。でも、自分はクリスチャンとして十分にできていない、と感じることがあります。願った通りにできないので、とてもつらくなります」。キャロル姉妹は、エホバに一生懸命仕えたいと思っています。それは本当に素晴らしいことです。思いやり深いエホバは、姉妹のこうした態度を見て、本当に喜んでいることでしょう。

5. (ア) できることが限られているように感じてがっかりする時には、どんなことを思い出すとよいですか。 (イ) 写真の兄弟が、エホバに仕える面で自分にできることを一生懸命に行ってきました、と言えるのはなぜですか。

5 自分にできることが限られているように感じてがっかりする時には、①エホバが自分に期待しているのはどんなことだろう、と考えてみるようになります。エホバが期待しているのは、私たちが自分に今できることを一生懸命に行うことです。次のような場面を考えてみましょう。80代の姉妹が、エホバに仕える面で40代の時ほど多くのことができないと感じてがっかりしています。自分にできることを一生懸命に行ってはいますが、エホバに喜ばれていないと感じています。でも、本当にそうでしょうか。姉妹は、40代の時も80代になんでも自分にできることを一生懸命に行っています。ですから、行えることは変わっても、一生懸命に行っているということに変わりはありません。それで私たちも、自分の奉仕がエホバに喜ばれていないように感じる時には、②エホバが喜ぶかどうかを決めるのは私たちではなくエホバである、ということを忘れないようにしましょう。私たちが自分にできることを一生懸命に行うなら、エホバは「よく頑張りました！」と言ってくださるので。(マタイ 25:20-23)²¹ 主人は言いました。『よく頑張りました！あなたは忠実な良い奴隸です。わずかなものに忠実でした。多くのものを管理させるためにあなたを任命しましょう。主人である私と共に喜びなさい(*来てあなたの主人と喜びを共にしなさい/あなたの主人の喜びに入りなさい)』比較

6. マリア姉妹の経験からどんなことを学べますか。

6 できないことではなくできることに目を向けることは、喜びを味わう上で助けになります。マリア姉妹の例を考えてみましょう。姉妹は、病気のために奉仕でできることが限られています。それで、最初はひどく落込み、自分は役に立てないと感じていました。でも姉妹は、会衆の中に寝たきりの姉妹がいるので、その姉妹を助けようと思いました。マリア姉妹はこう言います。「私はその姉妹と電話や手紙で一緒に伝道することにしました。毎回、奉仕を終えて家に帰ると、今日も姉妹の助けになることができた、とうれしい気持ちになります」。私たちも同じように、できないことではなくできることに目を向けるなら、いっそ喜びを味わうことができます。では、エホバへの奉仕の面で、ほかの人よりも多くのことが行えたり上手にできたりする場合はどうでしょうか。

持っている能力を「生かして」ください

7. ペテロはクリスチャンにどんな良いアドバイスをしましたか。

7 ペテロは第一の手紙の中で、自分が持っている能力を用いて仲間を励ますようクリスチャンに勧めました。こう述べています。「一人一人に能力が与えられているのですから、神から親切を示された立派な管理人として、その能力を生かして仕え合ってください」。(ペテー 4:10)神の惜しみない親切はさまざまな形で表されます。一人一人に能力(*贈り物)が与えられているのですから、神から親切を示された立派な管理人として、その能力を生かして仕え合ってください) 周りの人がねたんだりがっかりしたりするのではないかと考えて、自分の能力を十分に生かすことをためらわないようにしましょう。そのようにためらうなら、エホバに一生懸命仕えていることにはならないからです。

8. コリント第一4章6, 7節によると、持っている能力を誇るべきでないのはなぜですか。

8 持っている能力を十分に生かすとはいえるが、誇ることがないように注意することも必要です。（コリント第一4:6, 7さて、兄弟たち、私は皆さんのために、こうしたことを私とアポロに当てはめて(*置き換えて)論じてきました。「書かれている事柄を越えてはならない」という点を学んでもらい、皆さんが**思い上がって人をひいきしたり見下したりすることのないため**です。7というのには、あなたの何が他の人より優れているのですか。あなたが持っているもので、もらったのではないものがあるのですか。もらったのであれば、どうしてもらったのではないかのように誇るのですかを読む。）例えば、あなたは**聖書レッスンを始めるのが上手かもしません**。その**能力をためらわずに生かしてください**。でも、持っている**能力を生かすこと**とそれを**誇ることは**、別の話です。**良い経験をして、新しい聖書レッスンが始まった**としましょう。そのことを野外奉仕グループの仲間にぜひ伝えたいと思います。でも、**グループが集合する所に行ってみると、1人の姉妹が雑誌を配布できたことを話しています**。姉妹は雑誌を配布できました。あなたは新しい聖書レッスンを始めました。では、どうしますか。**聖書レッスンが始まった経験を話せば、グループのみんなは励まされるかもしませんが、雑誌を配布した姉妹をがっかりさせない**ために、別のに話をすることになります。それは**親切なこと**です。それでも、聖書レッスンを始めることを目指して、引き続き頑張りましょう。持っている能力をぜひ「生かして」ください。

9. 自分の能力をどのように生かすべきですか。

9 自分が持っている能力は**全てエホバ神から与えられている**ものである、ということを忘れてはいけません。私たちは、**自分を高めるためではなく、会衆の仲間に励みを与えるために自分の能力を用いるべき**です。（フィリ 2:3対抗心を抱いたり、**自己中心的になったり(*うぬぼれたり)**してはなりません。謙遜になり(*自分を低く見て)、**自分より他の人の方が上だと考えてください**）**神の望まれることを行った**ために**自分の体力や能力を生かすなら、喜びを味わう**ことができます。**人より上に立つためではなく、エホバをたたえるために自分の能力を用いている**からです。

10. 自分とほかの人を比較するべきでないのはなぜですか。

10 気を付けていないと、**自分の得意なこととほかの人の苦手なことを比較してしまう**かもしれません。例えば、ある兄弟は公開講演がとても上手です。それは良いことです、話が苦手な別の兄弟のことを心の中で見下してしまうかもしれません。でも、**話が苦手なその兄弟は、人をよくもてなし**たり**子供をしっかり育てたり宣教を熱心に行う**面で、よくやっています。**大勢の兄弟姉妹が自分の持っている能力を生かしてエホバに仕えたり仲間を助けたり**していることに、**本当に感謝できる**のではないでしょうか。

聖書中の人物や仲間の手本から学ぶ

11. イエスの手本に倣うよう努力すべきなのはなぜですか。

11 自分とほかの人を**比較するべきではありません**。それでも、エホバに仕えている人たちの**手本から学ぶ**ことはできます。私たちにとって**一番の手本はイエス**です。私たちは、イエスのように

完全ではありませんが、イエスの素晴らしい性質や行動の仕方から学ぶことができます。（[ペテ一 2:21](#) キリストでさえ皆さんのために苦しみ、その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました）イエスの手本に倣うよう一生懸命に努力するなら、エホバにいっそう喜ばれる人になり、宣教をいっそう上手に行うことができるようになるでしょう。

12-13. ダビデ王からどんなことを学べますか。

12 聖書には、忠実な人たちの記録がたくさん収められています。そうした人々は、完全ではありませんでしたが、私たちの手本となっています。（[ヘブ 6:12](#) 意けたりせず、信仰と辛抱のゆえに約束のものを受ける人たちに倣ってほしいのです）ダビデ王の例を考えてみましょう。ダビデはエホバの「心にかなう人」でした。（[使徒 13:22](#) 次いで、サウルを退けた後、ダビデを王として立て、こう宣言しました。『私は、心にかなう人、エッサイの子ダビデを見つけた。彼は私の望むことを全て行う』）ダビデは完全ではなく、重大な間違いを幾つも犯しました。それでも、私たちの良い手本となっています。なぜそういう言えますか。ダビデは矯正を受けた時、言い訳したりしなかったからです。強い助言を与えられた時、それを受け入れ、自分の悪い行いを悔い改めました。それで、エホバから許されました。（[詩 51:3, 4](#) 私は自分の違反をよく知っています。私の罪はいつも私の前にあります（*頭から離れません）。4 あなたに、ほかでもなくあなたに対して（d*あなただけに）罪を犯しました。あなたから見て悪いことを行いました。それで、あなたが話す事は正しく、あなたの裁きはもっともです。[10-12](#) 神よ、私の内に清い心をつくってください。新たな精神、揺らぐことがない精神を持たせてください。11 あなたの前から私を追い払わないでください。聖なる力（*）を私から取り去らないでください。12 あなたによる救いの喜びを再び味わわせてください。あなたに進んで従う気持ちを私の内に呼び起こしてください）

13 ダビデの手本から学ぶために、次のように考えてみましょう。「①自分は助言を受けた時、どのように反応するだろうか。すぐに自分の間違いを認めるだろうか。それとも、言い訳するだろうか。ほかの人のせいにする傾向があるだろうか。②同じ間違いを繰り返さないように努力するだろうか」。聖書中のほかの手本から学ぶ時にも、同じように考えることができます。「③この人がぶつかった問題は自分の問題と似ているだろうか。④この人はどんな素晴らしい性質を示しただろうか」。どの人物について考える場合にも、「⑤どうすればこの人のようになれるだろうか」と考えてみましょう。

14. 仲間の兄弟姉妹からどんなことを学べますか。

14 さまざまな年代の兄弟姉妹からも学ぶことができます。例えば、会衆の中には、仲間からの圧力や家族からの反対や病気などの試練を粘り強く忍耐している人たちがいます。そうした人々は、私たちが磨きたいと思っている性質を立派に示しているかもしれません。そうした人々の手本について考えるなら、自分が経験している試練にどのように立ち向かえるかを学ぶでしょう。信仰の面で良い手本を示してくれている兄弟姉妹がいることに心から感謝できるのではないかでしょうか。（[ヘブ 13:7](#) 皆さんを教え導いている（*皆さんの中で率先している）人たちのことを心に留めてください。皆さんに神の言葉を語った人たちです。その人たちの行いがどのような結果になるかをよく見て、その信仰に倣ってください。[ヤコ 1:2, 3](#) 私の兄弟たち、さまざまな試練に遭う時、それを喜ばしいことと考えましょう。3 ご存じの通り、そのようにして信仰の質が試されると、忍耐力が身に付くからです）

エホバに仕えることに喜びを見いだす

15. パウロのどんなアドバイスは、私たちがエホバに仕えることに喜びを見いだす上で役立ちますか。

15 ①会衆の平和と一致に貢献するために、私たち一人一人は自分にできることを一生懸命行う必要があります。1世紀のクリスチャンのことを考えてみましょう。彼らが持っていた能力や与えられていた責任はさまざまでした。 (コリー 12:4 さまざまな贈り物(*能力)がありますが、聖なる力は1つです、7-11 聖なる力は一人一人に明らかに働いていて、それは皆のためになっています。8ある人には聖なる力によって知恵の言葉(*賢く話す能力)が与えられ、ある人には同じ力によって知識の言葉が、9ある人には同じ力によつて信仰が、ある人には同じ力によって癒やす能力が、10さらに、ある人には奇跡を行う能力が、ある人には預言する能力が、ある人には神からの言葉を見分ける能力が、ある人にはさまざまな言語を話す能力が、ある人には通訳する能力が与えられています。11しかし、こうしたものは全て、同一の聖なる力の働きによるのであり、神の望み通りに一人一人に与えられています) それでも、②そのことが原因で競争心や分裂が生じることはありませんでした。パウロは仲間のクリスチャンに対して、「キリストの体を力づけ」るのに必要なことを行うよう勧めました。エフェソスのクリスチャンに宛てた手紙の中で、こう述べています。「各部が正しく機能するとき、体は成長していき、愛によって力づけられます」。(エフェ 4:1-3)
主のゆえに捕らわれている私は皆さんに勧めます。招かれた人にふさわしい歩み方をし、2いつも謙遜で(*自分を低く見て)温かであります。辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください。3平和という絆で結ばれ、聖なる力による(*精神の)一致を保つよう真剣に努力してください、11、12そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者(*良い知らせを伝える人)、ある人を牧者また教える人として与えました。12その人たちは聖なる人たちを正し(*訓練し)、奉仕し、キリストの体を力づけ(*建て)ます、16キリストの下に、体全体は、各関節が役割を果たすことにより、見事に組み合わされて協力し合います。各部が正しく機能するとき、体は成長していき、愛によって力づけられ(*建てられ)ます) パウロのこの言葉の通りにした人たちは、②'会衆の平和と一致に貢献することができました。現代のクリスチャン会衆にも、同じように平和と一致が見られています。

16. どんなことを行っていきたいと思いますか。 (ヘブライ 6:10)

16 ①自分と人を比べないようにしましょう。②イエスから学び、イエスの手本に倣うように努力していきましょう。③聖書中の人物や現代の手本から学ぶこともできます。④私たちが自分にできるのことを一生懸命に行うなら、「神は不公正な方ではないので、[私たちの]働きや愛を忘れないはされません」。(ヘブライ 6:10 さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れないはされませんを読む。) これからも、エホバに仕えることに喜びを見いだしていきましょう。エホバに喜んでいただるために私たちが自分の全てを尽くすなら、エホバはそれを高く評価してくださるのでです。

どのように答えますか

I. 自分と人を比較すべきでないのはなぜですか。

- S02 ①健康や才能に恵まれ、良い訓練を受けたおかげで何かを成し遂げることができたとしても、私たちが持っているものは、全てエホバから与えられているものなので、私たちはエホバに感謝するべき。
②仲間がエホバに仕える面で自分よりも多くのことができる場合にも、喜ぶことができる。そうした人が、自分のためではなく、エホバを賛美するために自分の能力を使っているので、競争心を抱くのではなく、そうした人から学ぶようにする

II. できることが限られているとしても、エホバに仕えることに喜びを見いだせるのはなぜですか。

- S05-06 次のことを思い出せる。①エホバが自分に期待しているのは、私たちが自分に今できることを一生懸命に行うこと。②エホバが喜ぶかどうかを決めるのは私たちではなくエホバである。③できないことはなくできることに目を向けるなら、いつそう喜びを味わえる

III. 聖書中の人物や仲間の手本から学ぶために、どんなことができますか。

- S11 私たちにとって一番の手本はイエス。私たちは、イエスのように完全ではなくても、イエスの素晴らしい性質や行動の仕方から学ぶことができる
- S12-13 ダビデは強い助言を与えられた時それを受け入れ、自分の悪い行いを心から悔い改め、エホバから許された。このダビデの手本から学ぶために、次のように考える。
 - ①自分は助言を受けた時、どのように反応するだろうか？すぐに自分の間違いを認めるだろうか？それとも、言い訳するだろうか。ほかの人のせいにする傾向があるだろうか？
 - ②同じ間違いを繰り返さないように努力するだろうか？
 - ③聖書中のほかの手本から学ぶ時にも、この人がぶつかった問題は自分の問題と似ているだろうか？
 - ④この人はどんな素晴らしい性質を示しただろうか？
 - ⑤どの人物について考える場合にも、どうすればこの人のようになれるだろうか？

65 番の歌 進歩し続けよう

^(ガラ 6:4) 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます。